

登録コード	BSD81566		開講年度	2026			
授業題目	生体医工学演習（22BS以降）					担当教員	山口 昌樹
英文授業名	Seminar in Biomedical Engineering					副担当	
単位数	2	講義期間	通年(集中)	曜日・時限	集中・不定期	対象学生	1年次生
講義室				授業形態	演習	備考	
信大コンピテンシー	該当						
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素					【授業の達成目標】	
	2026BSカリ，2025BSカリ，2024BSカリ，2023BSカリ						
	【専攻】さまざまな課題に対処できる高い情報収集・分析能力とグローバルな情報発信能力					専門学問分野における知識・技能を備え，それらを応用できる	
(2)授業の概要	担当教員ごとの少人数グループに分かれて，生体医工学の各専門分野に関連した技術文献，研究論文，専門書などを取り上げ，演習参加学生が輪番で講義ないしは発表し，討論を行う。						
(3)授業計画	本演習は担当教員ごとに分かれた少人数グループにおいて実施するため，その内容は各担当教員が指定した計画に基づいて履修する。内容は修士論文テーマなどと連動している場合が多い。						
(4)成績評価の方法	修士研究に関連した課題への取り組みとして，研究計画，先行研究調査，データの分析などを行い，それに関連したプレゼンテーションやレポートの内容，討論への参加状況を総合的に評価する。						
(5)成績評価の基準	修士研究の進捗を，先行研究や学術界の動向を踏まえて客観的に評価する。修士研究が実施されて複数の実験・シミュレーションデータなどを求め，研究計画，先行研究調査，データの分析の力を測るプレゼンテーション，レポートで60点と判断されれば可。						
(6)事前事後学習の内容	研究計画，先行研究調査，データの分析など						
(7)履修上の注意							
(8)質問,相談への対応	オフィスアワー（平日10:00-17:00），教員室（総研棟6F）にて質問，相談を受け付ける。						
(9)その他	学術的な資料を読みこなし，その内容を聴講者に説明するという形態を取ることが多い。適切な説明をするためには相当量の調査と準備が必要になる。本演習を通じて自らの知識を深め広げること。参加メンバーに理解してもらうためのわかりやすい発表スキルを身につけること。どれだけ精力を注いで準備をするかによって，学生諸君の知識と能力の向上に差が出ると言ってもよい。						
【教科書】	研究テーマによって変わるため，指定しない。						
【参考書】	研究テーマによって変わるため，指定しない。						